

創立 昭和32年4月19日
会長 エレクト 菅生 康 清
副会長 高橋 靖
幹事 関 俊 昭
広報会報記録 中 林 隆 男



事務局（例会会場）

榎原市久米町 652-2
榎原ロイヤルホテル 4F
TEL/0744-28-2801（直通）
FAX/0744-28-2802
E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp
TEL/0744-28-6636（ホテル）

例会日

毎週金曜日
12時30分から13時30分

Vol. 61 No. 14 (2017-18)
2017(平成29)年10月27日発行

**10月は、「経済と地域社会の発展月間」
(Economic and Community Development Month)、
「米山月間」(Yoneyama Month)です。**

第2950回例会報告書

2017(平成29)年10月13日

司会 副SAA・尾上隆志会員
R.song 4つのテスト
ソング・リーダー 尾田肇睦会員
ピアノ奏者 京田留奈さん
ピアノソナタ悲愴第2楽章
川の流れのように

ビ ジ タ ー

村島靖一郎君 (大和高田 RC)

出席報告

正会員 45名 (10/13) 出席者 28名 出席率 68.29%
正会員 44名 (9/29 補正) " 26名 " 76.47%

ニコニコ箱

◎誕生日お祝い
密門裕範会員 (10/21)

会長挨拶

○皆様こんにちは。衆議院選挙も活発になってきた。ほとんどの方が奈良3区だと思いが、私は田原本なので奈良2区になる。昨日、田原本町民ホールで高市早苗氏の講演があり、300人ほどが集まっていた。選挙が終わるまで、国民の一人として見守っていきたいと思う。
○次週の例会は10月21日(土)第9回榎原RC杯学童野球大会 開会式で移動例会となる。豊田青少年



活動委員長をはじめ、委員会の皆様が3月頃から準備をして頂いている。地域の子供達が甲子園に出たい、野球選手になりたいという思いを胸に、小さいころから野球の練習に打ち込み、その成果を発揮している姿をご覧頂きたいと思うので、ご出席の程、よろしくお願ひしたい。

○本日の卓話は情報集会発表となっている。4組に分かれて情報集会を開催して頂き、いろいろな議題について協議して頂いた。リーダーの皆様、発表をよろしくお願ひしたい。

幹事報告

△第9回榎原RC杯学童野球大会 開会式について
日時：10月21日(土) 集合7:30
場所：榎原運動公園軟式野球場
次週の例会は上記の通りとなり、10月20日(金)は例会はなしとなるので、お間違えの無いようよろしくお願ひしたい。

委員会報告

○米山奨学委員会：鍵岡正隆副委員長
・米山月間寄付について
本日、皆様のメールBOXに封筒をポストインしている。地区からの目標金額は会費から徴収させて頂いているが、別途寄付にご協力頂きたいのでよろしくお願ひしたい。
○青少年活動委員会：尾上隆志副委員長
・第9回榎原RC杯学童野球大会 開会式について
日時：10月21日(土) 集合7:30
場所：榎原運動公園軟式野球場
受付等の準備をご担当頂く皆様にはよろしくお願ひしたい。ご出席頂く方にはお弁当を準備しているので観戦しながら召し上がって頂ければと思う。

四つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

「情報集会発表」

テーマ：「70周年に向かつてのクラブの有り方」

担当：ロータリー情報委員会

<ロータリー情報委員会：鍵岡正隆委員長>

今回の情報集会は年齢別に4組に分かれて開催して頂いた。1組山川リーダー、2組中林リーダー、3組中谷リーダー（本日ご欠席のため、発表は辻田会員）、4組高橋リーダー（本日ご欠席のため、発表は関会員）に発表して頂く。各組6分以内での発表をよろしくお願ひしたい。



<第1組 リーダー：山川 賢会員>

11名中8名出席（出席率72.7%）

（オブザーバー：藤岡宏章会長）

開催日時：9月22日（金）18:00～

開催場所：橿原ロイヤルホテル地下1階
「和食レストラン まほろば」

発表：山川 賢会員

本年度第1回目 第1組の情報集会は9月22日（金）18:00から8名出席のもと、橿原ロイヤルホテル地下1階「和食レストラン まほろば」において開催しました。

まず初めに、オブザーバーとしてご出席して頂いた藤岡会長から、本年度は「会員増強60名」を目標にしており、期首は43名でスタートしたが、その後2名の増強ができたので、現時点では45名の会員数になっている。あと15名増強しないと目標達成とならないので、今夜の情報集会において、特に会員増強についてもご意見を賜りたいと冒頭でのご挨拶があった後、今回のテーマである「70周年に向かつてのクラブの有り方」について、年長者から順番にそれぞれ出席者全員の所見について語って頂きました。以下、特に強く印象に残った事項について発表させていただきます。

①ロータリークラブは出席することが一番大事である。

私が入会した頃は100%出席が当たり前であった。また欠席した場合は必ずメーキャップに行き出席率100%をキープした。また、メーキャップに行けば思わぬ人と出会うこともあり、大変勉強にもなって実に楽しいものだった。RI規定審議委員会も最近出席率をゆるめる傾向にあるが、これは間違っていると思う。

②以前、当クラブには出席に関して厳格な人がおられ、欠席すると厳しく注意された。また欠席する場合は必ず欠席届を出さないと叱られた。今は欠席しても欠席届を出さなくても誰からも何も言われないので、

出席率が悪くなるのは当然である。出席は義務でもあるが権利でもある。会員一人一人が高い意識をもって、出席率の良いクラブにしていく努力をしないと、すべてがうまくいかないと思う。今一度クラブ創設時の原点に立ち返って、出席率100%のクラブになることが何よりも大事である。

③最近、例会変更が多いように思うが、当クラブの例会は金曜日の12:30～13:30の定刻に開催すべきである。それぞれ各自の予定があるので、例会の曜日や時刻は固定した方が良いと思う。例会を変更すれば出席率は下がると思う。また例会を変更する場合はメーキャップ扱いとして開催すべきである。

④卓話で著名な人を呼んでもらえれば出席率は上がると思うし、会員増強にも繋がると思う。昔は錚々たる人の話が聴けて、それが大変魅力であった。だから毎週の例会に出席するのが楽しみであった。

⑤著名な方の話を聴くのにわずか30分では短すぎるので、プログラム委員会担当の卓話はやめて、できるだけ多くの会員に卓話を担当してもらった方が良いと思う。会員数が減少して予算的に窮屈になっている現状からして、費用のかさむ夜間例会はやめた方が良いのではないかと。その方が出席率は上がると思う。

⑥最近RIはクラブ運営の柔軟性と自主性を拡大する方向にあって、国民の祝日のある週は例会を休会しても良いとか、月2回の例会のクラブを承認することになって、月2回の例会のクラブが誕生しているが、当クラブは現行通り週1回の例会を堅持すべきである。月2回の例会にして回数を減らし、会費を下げても、会員増強にはならないと思う。また、最近Eクラブが誕生して会員を増やしているようだが、Eクラブはロータリークラブの基本理念から逸脱しているように思う。

⑦会員増強をする場合に、一番に配慮すべきことは、現メンバーの意見を尊重すべきである。当クラブで過去に入会に反対する人がいたにもかかわらず、それを無視して当年度の会長が理事会に諮って多数決で決定して入会を承認したという事態が起こったが、このようなことはやってはならない。このようなことをすると、クラブの雰囲気が悪くなり、後々の会員増強がやりにくくなってしまふ。

⑧橿原中央RC（現あすかRC）を立ち上げた後、当クラブは子クラブを育成するというので、会員増強を数年間ストップしたことがあったが、今日の当クラブの会員減少に少なからず影響しているように思う。会員増強は毎年継続して行わないと会員の年齢構成が歪になって、それが会員減少に繋がると思う。

⑨他クラブで入会を断られた人を当クラブで受け入れているとの風評を耳にする。このようなことにならないように、情報収集をしっかりと対応しなければならない。会員増強は質か量かとよく言われるが、どちらも大事で、一人を入会させることによって複数の退会者が出るようなことは避けなければならない。会員増強は焦ると質が悪くなると思う。

⑩入会時のオリエンテーションで出席の義務やルールやマナーを守る義務など、徹底して研修すべきである。また入会前の勧誘においても、ロータリークラブのルールやマナーを詳しく説明して意識付けをすることも大事だ。これはクラブの連帯意識を高めるためにも大切なことであると思う。

⑪ロータリークラブがあつて会社があるのではなく、会社があつてのロータリー活動だと思つるので、40代、50代の働き盛りの若い人に出席を厳しく言うとう入会しにくくなると思うので、若い人には何らかの配慮が必要だと思ふ。またロータリークラブは楽しくなければ長続きしないと思ふので、あまりルール、ルールと厳しく言うのもどうかと思ふ。

⑫当クラブも60周年の節目の記念例会を経て、100周年に向かうわけだが、次の記念例会はクォーターとすれば75周年になると思ふ。従つて今回のテーマも「70周年」ではなく「75周年」としてほしかった。その時は今の会員数の倍の80名のクラブにする。そうすれば予算的にも余裕ができて、充実した奉仕活動ができるクラブに生まれ変わると思ふ。

等々いろいろな意見が続出して、第1組の情報集会は19時に終了しました。引き続き野阪会員の乾杯のご発声により懇親会に移行しました。終始和やかな雰囲気の中で、時の経つのも忘れて、当クラブに対する熱い思いを語り合いました。気が付けば21時になろうとしていたので、中井会員の中締めで閉会を宣言しました。18時から始めて正味3時間、内容の充実した情報集会となりました。

何分にもリーダーの力量不足で、出席者全員の熱い思いを充分にまとめられず、正しく正確に発表できなかったかもしれませんが、ロータリーの「寛容の心」でお許し頂きたいと思ひます。

以上で情報集会第1組の発表を終わらせて頂きます。どうもありがとうございました。

<第2組 リーダー：中林隆男会員>

11名中4名出席（出席率36.4%）

（オブザーバー：藤岡宏章会長、関 俊昭幹事）

開催日時：10月6日（金）17:30～

開催場所：グリル アストリア

発表：中林隆男会員

檀原RCは県下2番目に誕生した伝統あるクラブで、前年度60周年も無事終わり、一つの節目を越えることができたと思ひます。

2組は増田ガバナー補佐をはじめ、会長経験者が多くメンバーにいた関係で、70周年に向かつてのクラブの今後のあり方やロータリーの基本・理念等についても積極的に前向きな話し合いをすることができました。

全体的には、クラブの状況としては会員同士のいろいろな趣味の交流もあり、家族的な雰囲気の楽しいクラブになっている。

問題点として、

- ・会員の平均年齢 64歳と高齢化の状況、現在会員数 45名と年々減少している（60周年の節目による高齢者の退会等）状況である。
- ・元会員の子弟や企業の後継者が入会していない（退会時の勧誘が必要）
- ・ローターアクト、インターアクトの経験者が入会していない（卒業後のフォローが必要）
- ・ロータリーの認知度（広報の必要性）や魅力が昔に比べて少し落ちているのではないかと。
- ・歴史があるが故に奉仕活動がマンネリ化していないか。
- ・退会による会員の空白地域が増加。

緊急課題として、

- ・クラブ存続にはとにかく早急に会員拡大を図る必要がある。
- ・クラブの活性化をするには将来的に最低でも70～80名の会員が必要である。
- ・若い会員の入会数が少ない（若い他クラブに流れている）。若い人が入会したくなるクラブ作りを図る必要がある。
- ・今年度の藤岡会長のテーマである「伝統と変化」を基本にし、クラブの伝統を守りながら、現在の時代にあつたクラブに改革し変化していかねければ、会員拡大に繋がってこないのではないかと意見もありました。

70周年に向かつての対処法として

- ・地域社会に密着した奉仕活動を通じて、地域社会に期待され親しまれるクラブ作りをする。
- ・会員増強については、若い会員や女性会員（時代の流れである）を大幅に勧誘する。
- ・職業分類で未充填の分野の会員の勧誘を図る。
- ・他クラブより年会費が高い傾向があるので、年会費を抑える方法を検討する。
- ・クラブ独自の定款・細則の検討（例会回数・高齢者の退会防止のための会費の減額や徴収方法の検討）
- ・新入会員の勧誘に関しては、クラブ会員全員が情報を共有し、チームプレーで勧誘を行う。
- ・会員増強に成功しているクラブの勧誘方法を分析し、参考にする（幸い、現在は増田ガバナー補佐がいろいろなクラブに行かれているので、情報を提供して頂き、参考にする）。

<第3組 リーダー：中谷昌紀会員>

11名中9名出席（出席率81.8%）

（オブザーバー：関 俊昭幹事）

開催日時：9月28日（木）18:00～

開催場所：檀原観光ホテル

発表：辻田真海会員

第3組におきましては、会員の減少を危惧する意見が多く、この10年は会員の増強が一番大切であるとの声が多く聞かれました。

- ・では、増強するが為には？
クラブの充実、魅力ある例会活動が大事である。
例えば卓話の充実については、予算削減の為に自前で行ってしまいがちなので特別なゲストを招くことも重要なのではと思います。
- ・高校や大学で行われているオープンキャンパス、オープンスクールにちなんで「オープンロータリー」と題して、例会や活動等へ気軽に見学、気軽に参加していただき体験してもらおう。
- ・不易流行にとらわれない。
「現在の風潮に沿った事案」「時代のニーズに合った活動」を取り入れていくことも大事ではないか。
- ・例会の出席回数の見直し。
例えば全体例会は月2回として、委員会活動、同好会活動を月1回の集会としてそれをメーキャップ可にし、月4回の出席に導けば予算的にも削減でき出席率の向上にもつながるのではと考えています。青少年活動に、より一層強く力を入れてみてはという意見も出ました。現在も学童野球、子供達の伝統文化、そして昨年スタートしたジュニアサマースクールと積極的に活動しています。
- ・2650地区で現在力を入れているロータリーフェローズ。青少年の育成を目的とした、地区一押しの活動で、参加資格はインターアクト、ローターアクト、米山奨学生、ライラ受講者です。当クラブでは全てを満足しています。この人達を対象に、長い道のりですがこれからの少子化を考えた上で、このような活動も大事なのかもしれません。

ともかくにも意見が多くでたのは、今後の少子化による人口減です。当クラブだけの問題ではなく2650地区全体にもいえることでしょう。近い将来にはクラブ同士の合体も視野に入れるべきではないでしょうか。

魅力ある例会作りは会員増強のほかになく、現在の人員ではかなり困難であります。予算、運営費用を考えると、俗に言う損益分岐点は会員60名が最低人数と思われる。

70周年に向かっての有りかたは、会員の増強が当クラブの一丁目一番地です。特に55歳以下の方々への積極的なアプローチが絶対です。藤岡会長の掛け声のもと、直近でも最低15名は必要であることを再度認識し努力することを確認しあい、懇親を深め楽しいひとときを過ごさせて頂きました。

<第4組 リーダー：高橋 靖会員>

11名中8名出席（出席率72.7%）

開催日時：10月2日（月）19:00～

開催場所：小料理 元気

発表：関 俊昭会員

Q1 例会数について

項目	件数	割合
① 現状のままで良い	2	25%
② 3回/月	2	25%
③ 2回/月	4	50%
合計	8	100%

【コメント】

- ・1回あたりの例会内容や密度を上げて良いものではないか。

Q2 例会開催時間について

項目	件数	割合
① 昼間が良い	1	13%
② 夜間が良い	1	13%
③ 併用が良い	6	75%
合計	8	100%

Q2-1 併用の場合の昼と夜の割合

項目	件数	割合
① 昼7割&夜3割	3	50%
② 昼5割&夜5割	3	50%
③ 昼3割&夜7割	0	0%
合計	6	100%

【コメント】

- ・60歳定年時代ではない。
- ・仕事も忙しい。
- ・20時以降ならば夜間でも良い。

Q3 会費用途について

項目	件数	割合
① 詳しく知っている	4	50%
② 一部は知っている	4	50%
③ 知らない	0	0%
合計	8	100%

Q3-1 会費について

項目	件数	割合
① 今のままで良い	2	25%
② 高い	6	75%
③ 安い	0	0%
合計	8	100%

【コメント】

- ・削減できるところがあるのではないか。

Q4 委員会構成について

項目	件数	割合
① 委員会数は適正	2	25%
② 委員会数が多い	6	75%
③ 委員会数が少ない	0	0%
合計	8	100%

【コメント】

- ・1委員会当たりの事業が少ない。
- ・多過ぎる感じがする。

- ・実質的活動がない委員会を統合・減少させて予算を有効に使う。

Q5 継続事業について

項目	件数	割合
① 全て継続したほうが良い	0	0%
② 継続と中止を見極めたい	8	100%
③ 全て中止したほうが良い	0	0%
合計	8	100%

【コメント】

- ・目的や需要があいまいな事業は見直してよい。
- ・継続事業は少なめにして会長カラーを出しやすくすればいい。
- ・継続事業だと委員長カラーが出しにくい。

Q6 食事の必要性について

項目	件数	割合
① 例会には必要	2	25%
② 例会内容に準じて要不要	6	75%
③ 不要	0	0%
合計	8	100%

Q6-1 食事内容について

項目	件数	割合
① 今のままで良い	6	86%
② 豪華すぎる	0	0%
③ 安っぽい	1	14%
合計	7	100%

【コメント】

- ・ご飯のお替り可能にしてほしい。
- ・中華のとりわけが面倒。

Q7 予算見直しについて

項目	件数	割合
① 今のままで良い	1	8%
② 収入を見直す	5	42%
③ 支出を見直す	6	50%
合計	12	100%

【コメント】

- ・厳しく管理すべき
- ・ニコニコ減少傾向なので将来的に不安。
- ・収入支出ともに見直すべき。
- ・ニコニコの目的を明確にすべき。
- ・ピアノは不要。

Q8 服装について

項目	件数	割合
① 今のままで良い	4	50%
② カジュアルでも良い	4	50%
③ 仕事着でも良い	0	0%
合計	8	100%

【コメント】

- ・ジャケット&パンツを基本にすればいい。
- ・ネクタイは例会内容による。

維持と進化

項目	件数	割合
① 維持派	20	27%
② 進化派	55	73%
合計	75	100%

会長総評

4組それぞれから貴重な意見を頂いた。年齢別の組分けということで、年代によって考え方に違いがあるように感じた。しかし、いずれにしても現在の榎原RCの課題が見えてきたと思う。会員増強、例会のあり方、予算のあり方など、いろいろ挙げて頂いた貴重な意見について検討させて頂き、次年度に繋げていきたいと思う。ありがとうございました。

【例会ご案内】

11月3日(金・祝)
休会

11月10日(金)《第1例会》
「地区補助金の活用にあたって」
担当：ロータリー財団委員会

11月17日(金)《第2例会》
新入会員自己紹介
速水正明会員・吉村輝高会員

11月24日(金)《第3例会》
担当：民谷浩一会員

12月1日(金)《第1例会》
担当：松井大典会員

12月8日(金)《第2例会》
望年親睦家族会
担当：親睦活動委員会

【同好会】

書道同好会

11月10日(金)・11月24日(金)
午後2時～4階 楓の間

※11月24日(金)のみ4階「サテライトルーム」

【RAC例会】

[榎原オークホテルにて、午後7時半～9時]

11月12日(日)《第1例会》
奈良ゾーン合同例会

12:45 登録開始、13:00 開会、15:35 閉会
於：広陵パークゴルフコース

11月22日(水)《第2例会》
国際奉仕②

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。